



自治体と学校の連携 取組紹介

- (1) 広報の在り方
- (2) 外国人教員の採用

大阪府立水都国際中学校・高等学校

Osaka Prefectural Suito Kokusai Junior & Senior High School

はじめに①:水都国際について



開校

2019年(平成31年)4月

大阪市立として開校後、2022年(令和4年)に大阪府へ移管。

日本初の公設民営中高一貫校

設置:大阪府(公)／運営:学校法人大阪 YMCA(民)

国際基準の教育環境

教員の約3割が外国人。数学・理科等の教科も英語で実施。

国際バカロレア(IB)認定校

DP(ディプロマ・プログラム)認定。

※DPは高校2・3年次。条件有。

はじめに②: 公設民営学校とは



- ✓ 国家戦略特別区域法(平成 25 年)により、**公立学校の運営を民間に委託**する道がひらかれた。
- ✓ 「日本再興戦略」の要として、国家戦略としてふさわしいプロジェクトを推進する。
- ✓ 地域の発意に基づく従来の特区制度とは異なり、国が主体的にコミットし、国・地方公共団体・民間が三者一体となって取り組む。
- ✓ 日本再興戦略において「**公立学校で多様な教育を提供**する観点から、**公立学校運営の民間開放**が有効な方策となり得る」との提言を受けて大阪市より申請。
- ✓ **国際バカロレアの普及拡大**を通じた**グローバル人材の育成**の必要性が増していることから、国家戦略特区における規制改革事項として認められたもの。

(1) 広報の在り方①



学校として実施していること▶ 戦略的募集活動

全方位型のターゲットアプローチ

公立標準 : 大阪府主催の進学フェア参加 / 中学校訪問 / 教員対象説明会

民間手法 : 塾主催説明会への積極参加 / SNS (FB/Instagram) による日常的な発信

デジタル活用 : 外部専門業者による Web サイト構築
(ユーザー目線の情報設計)

帰国生ターゲットの強化

- ✓ 私立・インター校が中心となる「帰国生対象説明会」へ公立校として参画。
- ✓ 「公立の学費」で「国際基準の教育」が受けられる唯一無二の価値を訴求。

(1) 広報の在り方②



学校として実施していること▶ 開かれた学校と地域連携

アウトプット型広報

- ✓ 探究学習(PBL)の成果を外部コンテストや地域企画で発表。
→生徒の活躍が企業や大学の注目を集め、学校の認知度向上に直結。

「教育のハブ」としての役割

- ✓ 年間51件におよぶ国内外からの視察を戦略的に受け入れ。
- ✓ 府立学校への公開授業・研究授業を通じ、IBの手法を公教育全体へ波及。

ネットワークの最大活用

- ✓ 大阪YMCAのグローバルネットワークを活かした海外連携・福祉活動。

(2)外国人教員の採用について ①



グローバル・リクルーティング

- ✓ 全員が母国の教員免許を保持。
- ✓ 大阪YMCAが持つ世界展開の採用網を活用し、オンライン面接等で柔軟に選考。

公設民営ならではの処遇

- ✓ 優秀な人材確保のため、委託条件に基づき「日本人教員とは異なる給与体系（優遇措置）」を適用。

制度の柔軟な運用

- ✓ 大阪府による「特別免許状」等の発行により、外国人教員単独での授業実施を可能に。

(2)外国人教員の採用について②



特別免許状とは

- ✓ 教員免許未所持でも、優れた専門知識・経験を持つ者に、都道府県知事の授与により付与される免許。

職務権限

- ✓ 普通免許状保持者と同様に、単独での授業・成績評価が可能。

運用の特徴

- ✓ 学校設置者(教育委員会)の推薦に基づき審査。
- ✓ 有効期間(10年)および授与自治体内の限定的な効力。

参照URL:学校における外部専門人材の活用について(特別免許状及び特別非常勤講師制度):文部科学省

参考：高校の教育課程



高校1年時

グローバル探究科

高校2年時から各コースへ

グローバル
コミュニケーション

グローバル
サイエンス



**国際
バカロレア**